

平成24年度 茨城県教育研修センター研究発表会 アンケート集計結果

I 各部会，参加人数，回収数及び割合

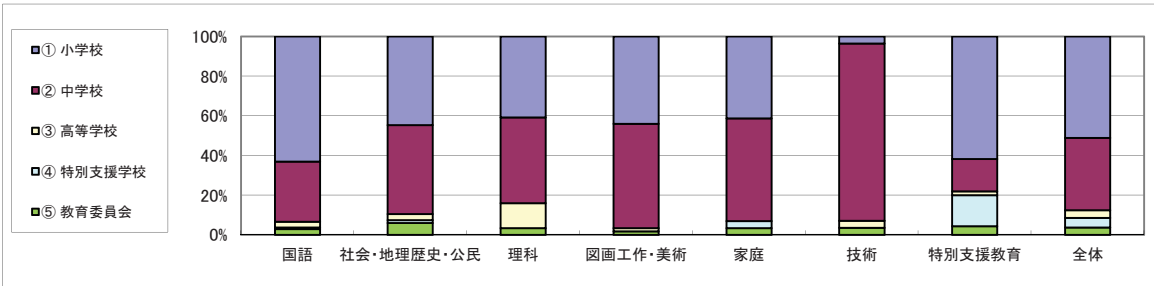
発表部会	参加者数(人)	回収数(枚)	割合(%)
国語	143	138	96.5
社会・地理歴史・公民	75	67	89.3
理科	92	88	95.7
図画工作・美術	60	59	98.3
家庭及び技術・家庭[家庭]	30	29	96.7
技術・家庭[技術]	28	28	100.0
特別支援教育	182	160	87.9
合計	610	569	94.9

II アンケート質問項目及び結果

1 次の(1)～(5)についてお答えください。

(1) 所属校種 (人)

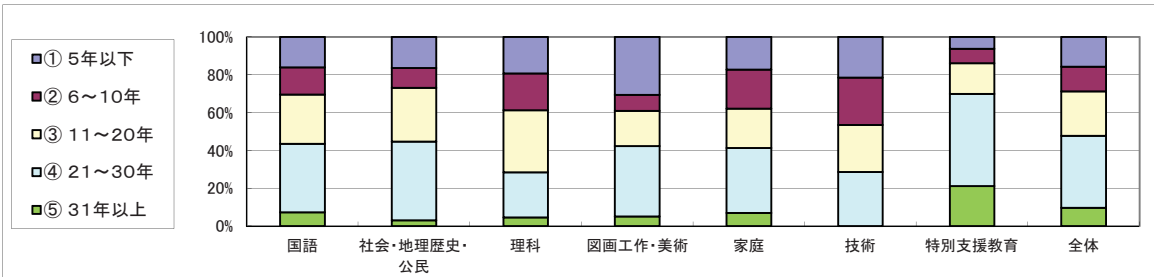
	国語	社会・地理歴史・公民	理科	図画工作・美術	家庭	技術	特別支援教育	全体	割合(%)
① 小学校	87	30	36	26	12	1	99	291	51.1
② 中学校	42	30	38	31	15	25	26	207	36.4
③ 高等学校	4	2	11	1	0	1	3	22	3.9
④ 特別支援学校	1	1	0	0	1	0	25	28	4.9
⑤ 教育委員会	4	4	3	1	1	1	7	21	3.7
合計	138	67	88	59	29	28	160	569	100.0



・所属校種については，小学校が参加者全体の51.1%を占めている。
 ・高等学校の参加者は，昨年の9.0%から3.9%に減少した。

(2) 教職経験年数 (人)

	国語	社会・地理歴史・公民	理科	図画工作・美術	家庭	技術	特別支援教育	全体	割合(%)
① 5年以下	22	11	17	18	5	6	10	89	15.6
② 6～10年	20	7	17	5	6	7	12	74	13.0
③ 11～20年	36	19	29	11	6	7	26	134	23.6
④ 21～30年	50	28	21	22	10	8	78	217	38.1
⑤ 31年以上	10	2	4	3	2	0	34	55	9.7
合計	138	67	88	59	29	28	160	569	100.0

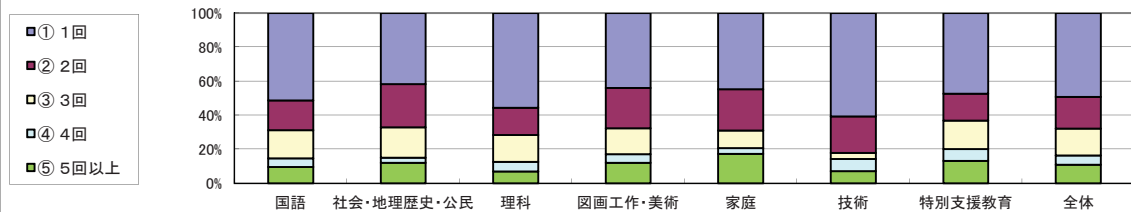


・教職経験年数21年以上の参加者が，昨年の39.4%に対して今年47.9%に増えている。

(3) 研究発表会の参加回数(今回も含めて)

(人)

	国語	社会・地理歴史・公民	理科	図画工作・美術	家庭	技術	特別支援教育	全体	割合(%)
① 1回	71	28	49	26	13	17	76	280	49.2
② 2回	24	17	14	14	7	6	25	107	18.8
③ 3回	23	12	14	9	3	1	27	89	15.6
④ 4回	7	2	5	3	1	2	11	31	5.4
⑤ 5回以上	13	8	6	7	5	2	21	62	10.9
合計	138	67	88	59	29	28	160	569	100.0

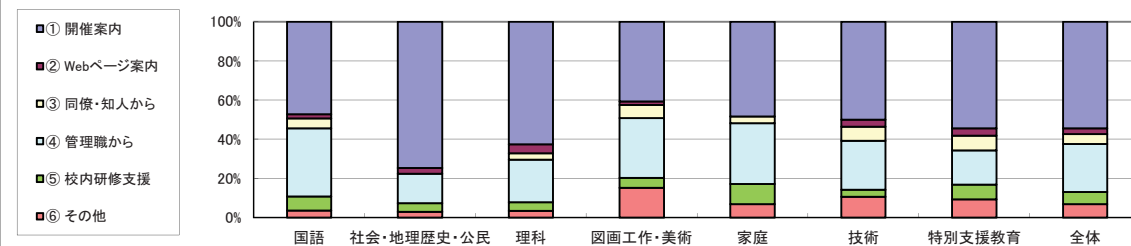


・研究発表会の参加回数は、今回初めての者が参加者全体の49.2%と約半数を占めている。

(4) この発表会をどのように知りましたか。

(人)

	国語	社会・地理歴史・公民	理科	図画工作・美術	家庭	技術	特別支援教育	全体	割合(%)
① 開催案内	65	50	55	24	14	14	87	309	49.8
② Webページ案内	3	2	4	1	0	1	6	17	3.0
③ 同僚・知人から	7	0	3	4	1	2	12	29	5.1
④ 管理職から	48	10	19	18	9	7	28	139	24.4
⑤ 校内研修支援	10	3	4	3	3	1	12	36	6.3
⑥ その他	5	2	3	9	2	3	15	39	6.9
合計	138	67	88	59	29	28	160	569	100.0



その他

- ・研修講座での紹介。
- ・毎年来るようにしている。

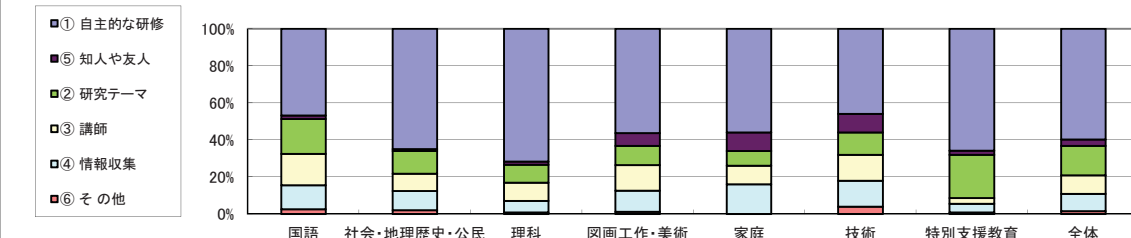
・研究発表会の開催については、開催案内で知った者が、参加者全体の49.8%と約半数を占めている。

・管理職から知らされた者が24.4%であった。参加者の概ね4人に1人が管理職からの勧めで参加している。

(5) この発表会に参加した主な目的は何ですか。(複数回答可)

(人)

	国語	社会・地理歴史・公民	理科	図画工作・美術	家庭	技術	特別支援教育	全体	割合(%)
① 自主的な研修	72	63	81	49	28	23	146	462	59.8
② 研究テーマ	29	12	11	9	4	6	52	123	15.9
③ 講師	26	9	11	12	5	7	7	77	10.0
④ 情報収集	20	10	7	10	8	7	10	72	9.3
⑤ 知人や友人	3	1	2	6	5	5	5	27	3.5
⑥ その他	4	2	1	1	0	2	2	12	1.6
合計	154	97	113	87	50	50	222	773	135.9



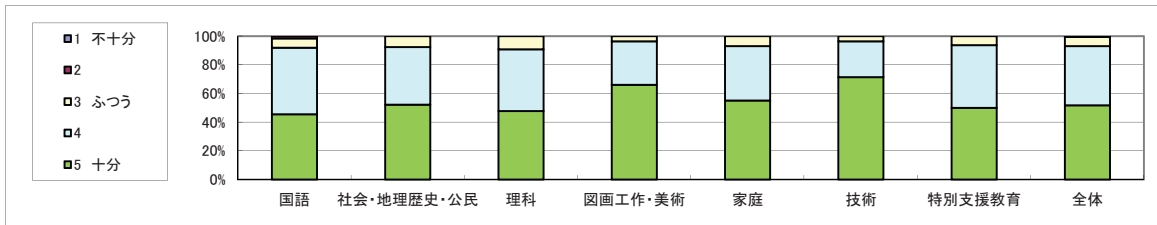
・発表会に参加した目的は、自主的な研修が59.8%で、個人の研修意欲の高さがうかがえる。

2 次の(1)～(3)について、あなたの満足度について次の5段階の数値でお答えください。
また、御意見があれば〔 〕内にお書きください。

(1) 研究発表・実践発表について

(人)

	国語	社会・地理歴史・公民	理科	図画工作・美術	家庭	技術	特別支援教育	全体	割合(%)
1 不十分	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2	2	0	0	0	0	0	0	2	0.4
3 ふつう	9	5	8	2	2	1	10	37	6.5
4	64	27	38	18	11	7	70	235	41.3
5 十分	63	35	42	39	16	20	80	295	51.8
合計	138	67	88	59	29	28	160	569	100.0



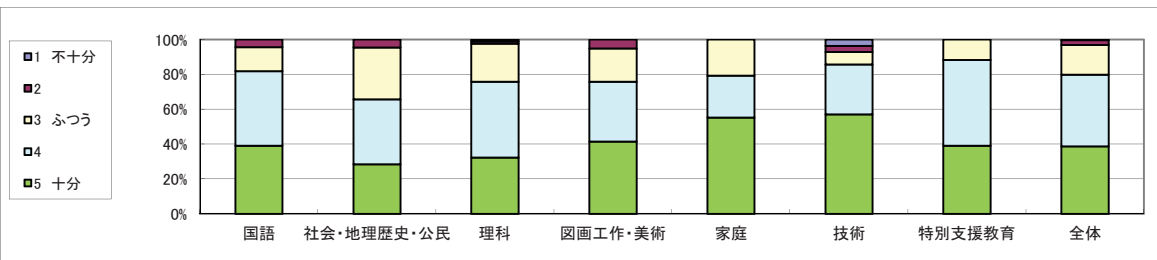
・研究発表・実践発表については、4, 5(十分)が、参加者全体の93.1%と9割以上を占めている。
・参加者が研究発表・実践発表に対して満足したことがうかがえる。

(2) 研究協議(演習)について

(人)

	国語	社会・地理歴史・公民	理科	図画工作・美術	家庭	技術	特別支援教育	全体	割合(%)
1 不十分	0	0	1	0	0	1	0	2	0.4
2	6	3	1	3	0	1	0	14	2.6
3 ふつう	19	20	19	11	6	2	15	92	17.2
4	59	25	38	20	7	8	63	220	41.1
5 十分	54	19	28	24	16	16	50	207	38.7
合計	138	67	87	58	29	28	128	535	94.0

* 理科, 図画工作・美術, 特別支援教育部会で無回答者がいた。



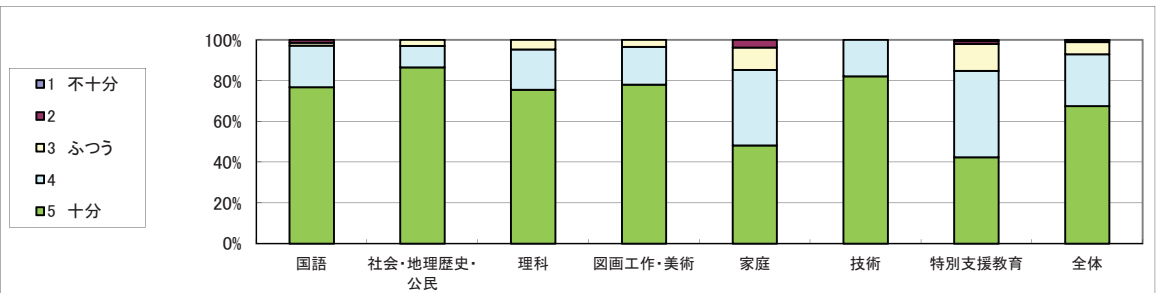
・研究協議については、部会ごとに満足度にばらつきはあるが、4, 5(十分)が参加者全体の79.8%であった。

(3) 講師の講義・指導講評について

(人)

	国語	社会・地理歴史・公民	理科	図画工作・美術	家庭	技術	特別支援教育	全体	割合(%)
1 不十分	0	0	0	0	0	0	1	1	0.2
2	2	0	0	0	1	0	2	5	0.9
3 ふつう	2	2	4	2	3	0	20	33	5.9
4	28	7	17	11	10	5	64	142	25.5
5 十分	106	58	65	46	13	23	64	375	67.4
合計	138	67	86	59	27	28	151	556	97.7

* 理科, 家庭, 特別支援教育部会で無回答者がいた。



・講師の講義・指導講評については、4, 5(十分)が、参加者全体の92.9%と9割以上を占めている。
・参加者が満足していることがうかがえる。

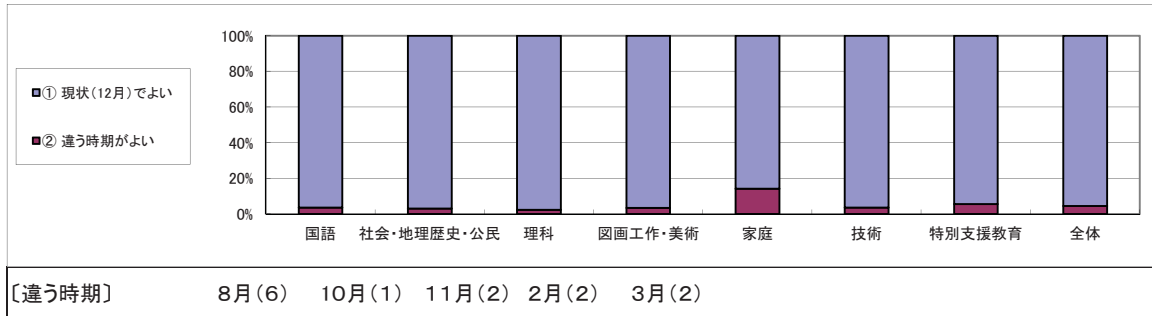
3 今後の研修センターの研究発表会のもち方についてお伺いします。

(1) 研究発表会の開催時期について

(人)

	国語	社会・地理歴史・公民	理科	図画工作・美術	家庭	技術	特別支援教育	全体	割合(%)
① 現状(12月)でよい	133	65	84	57	24	27	150	540	95.6
② 違う時期がよい	5	2	2	2	4	1	9	25	4.4
合計	138	67	86	59	28	28	159	565	99.3

* 理科, 家庭, 特別支援教育部会で無回答者がいた。



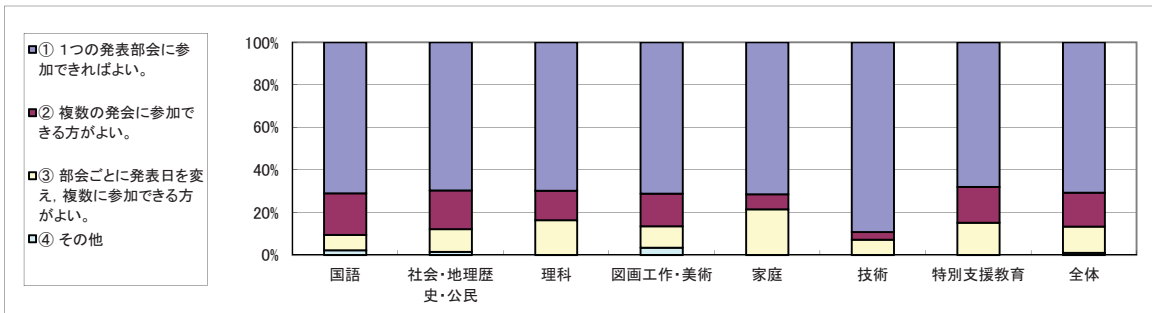
・研究発表会の開催時期については、「現状でよい」が参加者全体の95.6%と9割以上となっており、現状の12月でよいと考えられる。

(2) 発表部会の参加方法について

(人)

	国語	社会・地理歴史・公民	理科	図画工作・美術	家庭	技術	特別支援教育	全体	割合(%)
① 1つの発表部会に参加できればよい。	98	46	60	42	20	25	108	399	70.7
② 複数の発表会に参加できる方がよい。	27	12	12	9	2	1	27	90	16.0
③ 部会ごとに発表日を変え、複数に参加できる方がよい。	10	7	14	6	6	2	24	69	12.2
④ その他	3	1	0	2	0	0	0	6	1.1
合計	138	66	86	59	28	28	159	564	99.1

* 社会・地理歴史・公民, 理科, 家庭, 特別支援教育部会で無回答者がいた。



・発表部会の参加方法については、1つの部会に参加できればよいが、参加者全体の70.7%と7割になっている。